

# 高麗建郡歴史シンポジウム題目一覧

於 日高市総合福祉センター「高麗の郷」

2023年（令和5）7月16日

文責・中野高行

## ★太字は、文献研究者による報告

第1回 2013年（平成25）11月30日

- ①中平薫「日高市周辺の発掘成果より～高麗郡内の遺跡の特徴とは～」
- ②高橋一夫「埼玉県内の古代寺院、特に瓦のあり方より～高麗郡の役割とは～」
- ③須田勉「考古学から見た律令政府の東国・東北政策より～高麗建郡の意味は～」
- ④荒井秀規「東アジアと日本の政治状況から～高麗郡建郡の歴史的な意義は～」

第2回 2014年（平成26）12月6日

- ①赤木隆幸「高麗建郡記事の謎」
- ②中平薫「高麗郡の中心地はどこなのか？～郡役所の推測～」
- ③加藤恭朗「入間郡からみた高麗建郡～その建郡前夜～」
- ④富元久美子「集落からみた高麗建郡～渡来人による開発～」

第3回 2015年（平成27）12月5日

- ①眞保昌弘「考古資料からみた下毛野国の新羅人」
- ②中村順昭「高麗福信と武蔵国」
- ③赤熊浩一「武蔵国の鉄生産技術と渡来人」
- ④鈴木正信「高麗建郡と大神朝臣狛麻呂」

第4回 2016年（平成28）12月18日

- ①柿沼亮介「東アジアからみた高麗郡建郡の背景」
- ②須田勉「武蔵高麗寺・山背高麗寺・河内百濟寺」
- ③富元久美子「高麗郡の開発と東金子窯跡との関係について」
- ④中平薫「発掘成果から高麗郡家を推定する」

第5回 2017年（平成29）12月3日

- ①須田勉「女影廃寺と大寺廃寺の性格を探る」
  - ②高橋一夫「高岡廃寺の性格を探る」
- パネルディスカッション「高麗郡の古代寺院の謎を語る」  
司会：加藤恭朗  
パネリスト：須田勉・高橋一夫・昼間孝志・松本尚也

第6回 2018年（平成30）12月2日

- ①田中史生「百済王氏と百済郡、高麗王氏と高麗郡」
- ②網伸也「難波百済寺の造営と百済王氏 ～百済郡建郡の前提を探る～」
- ③上原真人「百済王氏の転抛と河内百済寺 ～交野郡移住の年代と背景を探る～」  
パネルディスカッション「古代百済郡の成立と高麗郡 ～建郡の実態をめぐって～」  
コーディネーター：川尻秋生・荒井秀規  
パネリスト：田中史生・網伸也・上原真人

第7回 2019年（令和元）12月15日

- ①鈴木一郎「武蔵国の新羅郡の遺跡」
- ②根本靖「遺跡出土土器からみた新羅郡の実態」
- ③加藤恭朗「武蔵国から見た新羅軍と高麗郡の建郡」
- ④柿沼亮介「武蔵国新羅郡建郡の歴史的背景」

第8回 2021年（令和3）12月5日

- ①山口耕一「古代下野国における新羅系文化」
- ②眞保昌弘「那須国造碑と地域支配の動向」  
パネルディスカッション「日本古代の新羅系住民と在地社会」  
コーディネーター：須田勉  
パネリスト：山口耕一・眞保昌弘  
コメンテーター：柿沼亮介

第9回 2022年（令和4）12月10日

- ①小嶋芳孝「遣渤海使が訪ねた渤海王都」
- ②古畑徹「渤海使として来日した渤海国の高氏」  
パネルディスカッション「高句麗滅亡後の国家、東アジアの古代王国“渤海”と日本との交流を探る」  
コーディネーター：中野高行  
パネリスト：小嶋芳孝・古畑徹

以上